



NPO 法人 みんなの 元気塾 だより

平成最後の月となったこの 4 月！ みなさんどのように過ごされていますか？ 「みんなの元気塾」では 4 月 9 日（火曜日）に毎年恒例のお出かけサロンで「吉野千本さくら」を一目見ようと精華町のふれあい号で出かけました。その日は前日の雨模様とは打って変わり、まぶしい程の太陽が朝からサンサンと降り注ぐ絶好のお出かけ日和となりました。吉野へ行く道中でもあちこちの土手に咲き誇る満開の桜を楽しみながら昼前には観光バスが数十台並ぶ吉野下千本駐車場に降り立ちました。そこから昼食会場まで 15 分ほどぶらぶらと散策しながら吉野山の桜見物を堪能したのですが、言葉では言い表せない程ほれほれするような絶景でした。山肌一面に敷き詰めたようにピンクの桜が幾重にも



も重なり合って咲き誇っている様はさすが吉野ならではの絶景でした。この日はお天気も良し・桜も満開・食事も美味・みなさん満面の笑みとすべて言う事なしで帰ってきました。その中で、90 歳代の高齢者が 4 人参加されていましたが皆さん前向きにお出かけサロンに参加され、楽しまれている様子は**元気に長生きする事の価値**を私たちに身をもって伝えていただいているようで感謝の気持ちでいっぱいでした。平成最後の月に感慨深い楽しい思い出が出来た事は記憶にしっかり残り元号が変わろうとしている時間を共に過ごしている記念すべき節目となりました。

さて、吉野散策時に丁度『金峯山寺蔵王堂』では秘仏本尊特別ご開帳が運良く開催中だったので急な階段を登りつめ蔵王堂前の 4 本桜を眺めて本堂に入って行き—金剛蔵王権現—を拝することが出来ました。青が荒ぶるとその迫力は迫り来るものがあり身が引き締まる思いで、今思い出しても脳裏に焼き付いています。

吉野 バンザイ＼(^o^)/ でした。



うらへ



さて、5月から「令和」と元号が変わります。

「令和」元年をスタートするにあたり皆様と一緒に「未来に夢を託して」5月1日を迎えたいと思っています。では、平成の締めくくりとしてこれまでの元気塾のあゆみを振り返ってみたいと思います。

— みんなの元気塾ものがたり —

- 平成 23 年 6 月 1 日 「みんなの元気塾」開所
- 平成 23 年 6 月 12 日 オープニングセレモニー開催 約 80 人程参加
- 平成 23 年 10 月 1 日～15 日 KCN 京都放送の「My けいはんな」の中で元気塾の活動を放映
- 平成 23 年 10 月 27 日 子育て交流広場としてオープン（第 2・4 木曜日）
- 平成 24 年 6 月 23 日 一周年記念式典
- 平成 24 年 10 月 5 日 NHK 総合テレビの“京のええとこ”で元気塾が紹介される。
- 平成 25 年 5 月 28 日 「特定非営利活動法人 みんなの元気塾」と認証される。
- 平成 25 年 9 月 24 日 軽度認知症対応型カフェとして「脳リフレッシュ講座」開催
- 平成 26 年 4 月 1 日 居宅介護支援事業所（ケアプラン事業）をスタートする。
- 平成 26 年 8 月 26 日 わくわく嶽山（だけやま）プロジェクトスタートする。
- 平成 26 年 6 月 4 日 認知症インストラクター養成講座を春講座・秋講座・冬講座で開催
- 平成 26 年 9 月 13 日 精華町敬老会に歌声サロンの皆さんで出演
- 平成 26 年 11 月 18 日 「健康寿命をのぼそう、アワード」厚生労働大臣優秀賞を受賞
- 平成 26 年 12 月 13 日 嶽山のふもとで初めての「芋煮会」開催
- 平成 27 年 9 月 12 日 精華町敬老会に歌声サロンの皆さんで 2 回目の出演
- 平成 27 年 10 月 14 日 第 1 期生 すてき 65 メイト養成講座が始まる。
- 平成 28 年 5 月 23 日 第 1 回 ツアー オブ ジャパン開催にて出店する。
- 平成 29 年 4 月 1 日 総合事業の「通所型サービス B」を始める。
- 平成 30 年 10 月吉日 「みんなの元気塾のれん」が第 2 号に変わる
- 今までに精華町「華創」・社協便り・議会だより・京都新聞等で住民活動として多々紹介される。



理事長の気持ちが大きく膨らんだつぶやきです。



つぶやき理事長

新しい元号が「令和」に決まりました。世論調査では国民の 8 割、特に若者が好意的に受け止めているようです。元号は時代をリセットし新たな時代に向かって進む節目として、みんなの元気塾も気持ちを新たに地域の居場所づくりに取り組みたいと思いますのでご支援よろしくお願い致します。



— 追記 —

この 8 年間いろんな人との出会いがあり別れがありました。また、大変喜ばしい事もありましたが心が沈むような出来事もたくさんありました。ただ、肅々と日々の活動を通して、いつまでも色あせる事のないつながりを地域の皆さんと共に育てて来た事は元気塾の宝物として輝いています。いつも見守っていただいている地域の方々、高齢者を支えて行こうと参加されているボランティアさん達、元気塾の仲間たち、文句言わず見守ってくれている家族等感謝でいっぱいです。へこたれる事無く何とかここまで来ましたが、これからも気負うことなく新たな元号「令和」にレッツゴーです。

— 「みんなの元気塾」 —